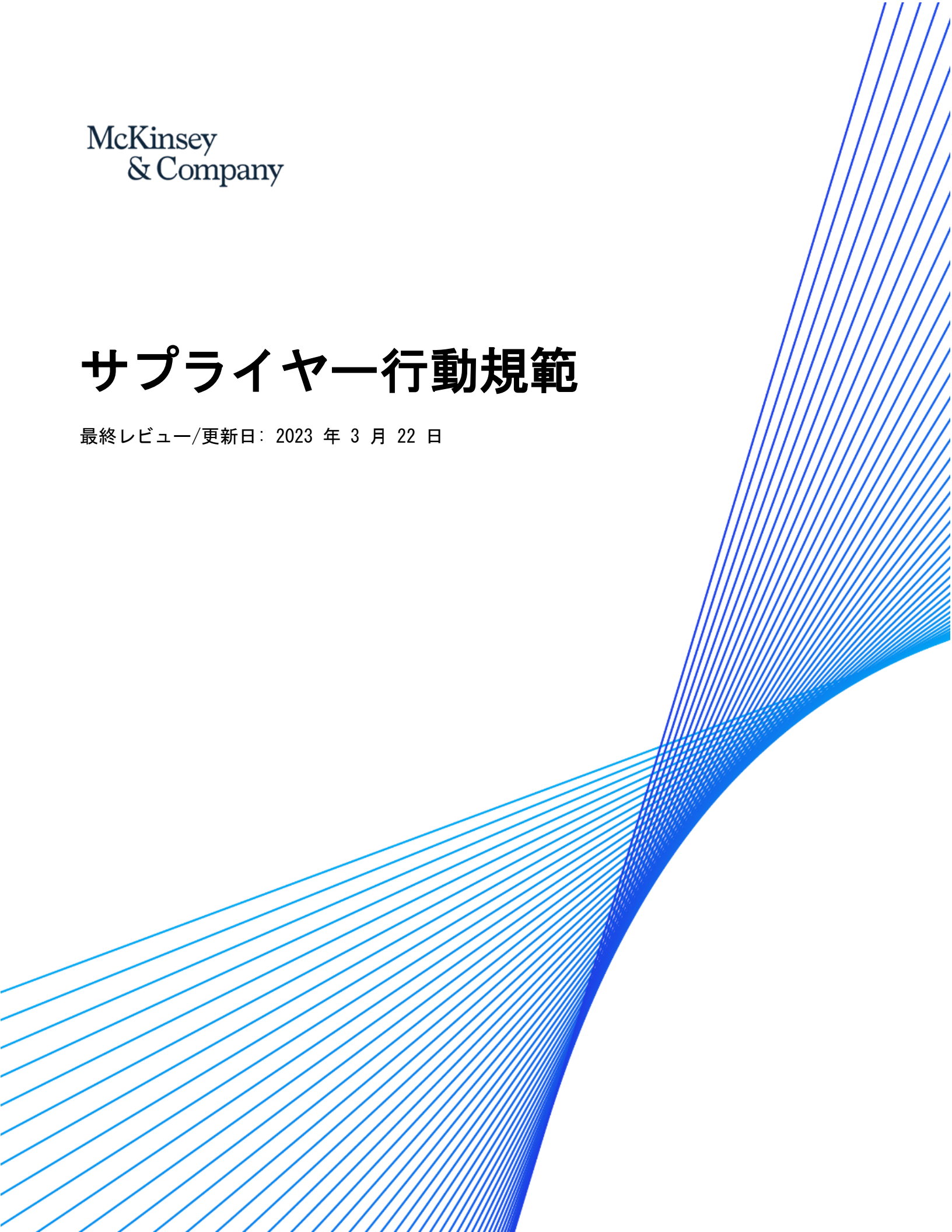


サプライヤー行動規範

最終レビュー/更新日：2023 年 3 月 22 日



サプライヤー行動規範

はじめに

McKinsey & Company（「マッキンゼー」）は、最高水準の誠実さと社会的責任を果たすことを約束しており、マッキンゼーに製品やサービスを提供するすべてのサプライヤー（「サプライヤー」）に対しても同様のコミットメントを行うよう期待しています。マッキンゼーのサプライヤー行動規範（「本規範」）は、サプライヤーの事業活動のあり方に対するマッキンゼーの期待を述べたものです。マッキンゼーはサプライヤーに対し、本規範およびサプライヤーが事業を行う地域内で適用されるすべての法律および規制に従って行動すること、およびそのような法律を執行する規制当局に対してオープンかつ協力であることを求めています。サプライヤーは、自らの供給業者、下請業者、および代理人に対して、ここに定める義務と実質的に同様の義務を課す必要があります。

概要

本規範は、マッキンゼーの価値観を反映したものであり、以下の項目に関して、サプライヤーに求めること、期待することを定めています。

1. 倫理観と誠実さ
2. データのプライバシーとセキュリティ
3. インクルージョンとダイバーシティ
4. 雇用、労働条件、人権
5. 福利厚生、安全衛生
6. 環境の持続可能性

サプライヤー行動規範

倫理観と誠実さ

マッキンゼーは、最高の倫理基準を堅持し、適用されるすべての法律、規則、および規制を遵守することを約束します。マッキンゼーはサプライヤーにも同様のことを求め、最低限、以下を遵守するよう求めています。

贈収賄防止および汚職防止

サプライヤーは、米国海外腐敗行為防止法や英国贈収賄防止法などの関連法を含む（ただしこれらに限定されない）、適用されるすべての贈収賄防止法および汚職防止法を完全に遵守する必要があります。

贈答品と接待

サプライヤーは、サプライヤー、マッキンゼー（マッキンゼーの従業員およびその家族ならびに関係者を含む）、または第三者のために、不適切な利益または影響力を得ることを意図して、贈答品その他の価値あるものを提供したり、受け取ったりしてはなりません。贈答品には、利益、手数料、コミッション、配当、現金、謝礼、サービス、またはあらゆる誘因が含まれますが、これらに限定されません。

懸念の報告に対する報復の禁止

マッキンゼーは、サプライヤーが、職場の懸念事項を報告するための方針とプロセスを整備することを期待しています。方針とプロセスは透明性が高く、理解しやすいものであると同時に、報告者と関連する調査に参加している人々の両方を報復から保護する必要があります。

貿易と制裁

サプライヤーは、貿易法および制裁に関して適用されるすべての法律および規制を遵守する必要があります。

データのプライバシーとセキュリティ

マッキンゼーはサプライヤーに対し、従業員、顧客、その他の取引先を含む（ただしこれらに限定されない）個人のプライバシー、機密資産および機密情報のセキュリティを保護することを要求します。

機密資産と機密情報

サプライヤーは、マッキンゼーとその顧客の機密資産および機密情報を保護しなければなりません。サプライヤーは、これらの情報を適切に保護するためのプロセスを設計し、維持する必要があります。

個人情報とプライバシー

マッキンゼーは、適用されるすべての法律および規制に従って個人情報を保護することをサプライヤーに要求します。マッキンゼーから提供された、またはマッキンゼーのために提供された個人情報の使用、アクセス、および開示は、サプライヤー契約で許可された範囲内で、かつ、適用されるすべての法律および規制に従ってのみ行う必要があります。

インクルージョンとダイバーシティ

マッキンゼーは、包摂的な文化を育んでいます。多様性は称賛されるべきであり、どのような差別をも容認すべきではないと考えています。

差別の禁止と職場の多様性

サプライヤーは、雇用における差別、雇用慣行、および嫌がらせと報復に関連するすべての適用法および規制を遵守する必要があります。

サプライヤーは、年齢、健康状態、障害、民族的または社会的出自、性別、性同一性、国籍、人種、性的指向、婚姻状況、子供の有無、妊娠、政治的信念、宗教または信念、組合への所属、退役軍人としての地位など（ただし、これらに限定されない）あらゆる理由による雇用における不平等な扱い、差別、嫌がらせ、被害、その他の虐待がない職場を運営しなければなりません。不平等な扱いには、同一価値の仕事に対する不平等な報酬の支払いも含まれます。

サプライヤーの多様性

マッキンゼーは、ダイバーシティとインクルージョンの推進に長年にわたって取り組んでおり、戦略的な調達・購買プロセスにおいて、多様な企業や社会的地位の低い企業との関係を積極的に推進しています。マッキンゼーは、サプライヤー自身のサプライチェーンの多様性を同様に重視しており、サプライヤーの多様性に関するマッキンゼーの目標を支持するサプライヤーを探しています。マッキンゼーはサプライヤーに対し、(i) 偏りがなく透明性の高い検索および評価プロセスを利用すること、(ii) サプライヤーの調達チームが多様な企業に公正な入札機会を積極的に提供すること、および (iii) 実行可能な場合は、多様なサプライヤーがビジネスチャンスに参加する機会を積極的に模索し、提供することを期待しています。

雇用、労働条件、人権

マッキンゼーは、国連グローバル コンパクトの参加者として、人権、労働、環境、汚職防止に関する 10 原則、世界人権宣言、労働における基本的原則および権利に関する国際労働機関（ILO）の宣言、ビジネスと人権に関する国連指導原則を支持しています。マッキンゼーは、これらの基準で定められた原則を遵守するよう努めており、サプライヤーにも同様のことを期待しています。

現代の奴隷制 / 人身売買

マッキンゼーは、サプライ チェーンのどの段階においても、どのような形態かを問わず、奴隷制、強制労働、人身売買を容認しません。サプライヤーも同様に、あらゆる形態の強制労働、児童労働、人身売買を禁止する必要があります。マッキンゼーはサプライヤーに対し、2015 年英国現代奴隷法および 2018 年オーストラリア現代奴隷法に概説されている人権、奴隷、強制労働および人身売買に関する法律および規制の該当する法的要件、ならびにサプライ チェーンにおける企業デュー ディリジェンス義務に関してドイツ法に概説されているサプライ チェーンのデュー ディリジェンスに関する要件を完全に遵守することを求めています。マッキンゼーはサプライヤーに対し、そのような関連法規を確実に遵守するための慣行を制定することを要求しています。

児童労働

マッキンゼーは、サプライ チェーンのどの段階においても、どのような形の児童労働をも容認しません。「児童」とは、最低就業年齢に関する適用法で別段の定めがない限り、15 歳未満または義務教育を修了する年齢未満で雇用されている者を指します。また、18 歳未満の労働者については、危険な業務に従事させてはならないものとしています。

人権

マッキンゼーは、マッキンゼーの社内業務において人権を尊重することを約束し、サプライヤーに対しても同様のことを求めています。マッキンゼーは、サプライ チェーンのどの段階においても、どのような形の人権侵害をも容認しません。マッキンゼーはサプライヤーに対し、尊重される、安全な職場を維持するための慣行を制定することを要求します。マッキンゼーはサプライヤーに対し、どのようなものかを問わず、身体的暴力、脅迫、体罰、精神的強制、言葉による虐待、無礼な行動、いじめ、または嫌がらせを容認しないよう要求します。

結社の自由

マッキンゼーはサプライヤーに対し、現地の法律に従って労働組合や労働者評議会を結成・加入する権利など、結社の自由に関する労働者の権利を尊重することを求

めています。労働者は、報復、嫌がらせ、脅迫を受けることなく、自由にこれらの活動に従事できなければなりません。

雇用法

サプライヤーは、賃金および労働に関するすべての適用法および規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーはサプライヤーに対し、労働に対する正確な報酬を確認するのに十分な情報を含む、タイムリーで理解しやすい賃金明細書を従業員に提供するように求めています。臨時労働者、派遣労働者、外部委託労働者の利用はすべて、適用されるすべての法律および規制に従って行うものとします。

民間または公的部門のセキュリティ部隊の雇用または使用

保護のために民間または公的部門の警備隊を雇用または使用するサプライヤーは、拷問、残酷、非人道的、または屈辱的な扱い、個人の生命または身体への損害、および労働者の結社の自由を損なうことを避けるために十分な指導と監督を提供しなければなりません。

福利厚生、安全衛生

マッキンゼーは、サプライヤーが事業活動全般にわたって健康と安全に関する健全な慣行を実践することを期待しています。

安全衛生

サプライヤーは、安全・衛生に関して適用されるすべての法律および規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーはサプライヤーに対し、安全衛生上のリスクを最小限に抑え、事故防止を支援し、従業員や請負業者、その他の第三者を含むすべての労働者に安全な職場を確保するための慣行を採用することを求めています。

環境の持続可能性

マッキンゼーは、事業が自然環境に与える影響を軽減することを約束し、サプライヤーと協力して同様のことを実施するよう取り組んでいます。

環境フットプリント

サプライヤーは、適用されるすべての環境法および規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーはサプライヤーが、サプライヤーの環境リスクおよび環境への影響に対処することを求めており、サプライヤーがエネルギー使用量と温室効果ガス（GHG）排出量を測定、管理、対処することを期待しています。また、該当する場合には、サプライヤーが事業における水やその他の天然資源と廃棄物を測定、管理、

削減することも期待しています。さらに、サプライヤーとそのサプライチェーンは、有害廃棄物、残留性有機汚染物質、水銀、および同様の物質の使用、取り扱い、廃棄に関して、適用される法律および国際協定を遵守する必要があります。

本規範の遵守

違反の報告

サプライヤーは、法令違反や本規範またはその他のマッキンゼーの方針に対する違反があった場合、速やかにマッキンゼーに報告する必要があります。

サプライヤーは、法律で認められている場合には、マッキンゼーに関する召喚状、規制当局からの要請、メディアからの問い合わせ、その他の第三者からの要請を、速やかにマッキンゼーに転送しなければなりません。

[『Got A Concern? \(懸念がありますか?\)』](#) では、マッキンゼーの同僚および外部関係者の両方が、法律、方針、価値観、職務上の行為に関する不正行為や違反の可能性について、内密に懸念を提起することができます。この秘密厳守のプロセスの詳細は、『Got a Concern?』のウェブページに掲載されています。

マッキンゼーは、欧州連合内部告発指令および関連する各国の実施法が定める法令違反に関する懸念の正式な報告メカニズムとして、『Got a Concern?』を指定しています。

マッキンゼーの権利

マッキンゼーは、サプライヤーによる本規定の遵守を確実にするために、以下の権利を留保します。

サプライヤーの選定

マッキンゼーは、サプライヤーの評価、選定、オンボーディング プロセス、およびサプライヤーとマッキンゼーとの関係のどの時点においても、サプライヤーが本規定を遵守しているかを評価します。

サプライヤーの評価

サプライヤーの評価は、マッキンゼーが国連グローバル コンパクト、より広範な専門的基準、およびサプライチェーン全体のリスク管理に取り組むことを支援するものです。サプライヤーの評価は、環境の持続可能性、人権、労働、倫理など、本規

範で扱うテーマに関連するサプライチェーンにおける悪影響を特定、防止、緩和、説明、改善するためのデューディリジェンスの重要な要素です。

サプライヤーは、サプライヤーの認定プロセス中に、本規範を受け入れ、遵守していることを確認するよう求められることがあります。また、定期的に本規範の遵守を再確認するよう求められることがあります。サプライヤーは、要求に応じて、本規範の遵守に関連する方針と慣行に関する情報を書面で提供することを義務づけられます。

さらに、マッキンゼーは、本規範やその他の関連事項に対する適合性を監視し、継続的な改善を促すために、特定のサプライヤーに対して、第三者による証拠に基づく評価の完了を要求したり、現地監査を許可したりする場合があります。

マッキンゼーは、本規範で扱うテーマについて、サプライヤーと協力してパフォーマンスを向上させることを約束し、時には、サプライヤーに対して、本規範やその他の関連する問題に関する特定の是正措置をとるよう要求することがあります。マッキンゼーは、サプライヤーが、該当する関連トピックに共同で取り組むことに同意することを期待しています。

コンプライアンス違反、違反行為、解雇

各サプライヤーは、マッキンゼーに対する義務や約束を履行するために利用するすべての供給業者、下請業者、および代理業者に対し、本規定を遵守させるか、または実質的に同様の義務を課すものとします。サプライヤーは、その供給業者、下請業者、および代理人の違反を含め、違反に気付いた場合、マッキンゼーに報告し、対処しなければならないことを認識するものとします。本規範の不遵守または違反があった場合においても、その違反が重大または不治のものである場合または法律違反を構成する場合を除き、マッキンゼーは、合意した是正措置を通じて問題を解決するための合理的な機会をサプライヤーに提供することができます。この行動規範または法律に違反した場合、マッキンゼーは当該サプライヤーとの関係を停止または終了させることができます。また、法律違反の場合、マッキンゼーは、その問題を適切な当局に開示します。

優先順位、本規範の変更

本規範と適用法の間に矛盾がある場合、サプライヤーは、適用法を遵守しなければなりません。本規範が適用法を超える義務を要求する場合、サプライヤーは、適用法の範囲内でこれらの要件に従う必要があります。

マッキンゼーは、本規範の要件を更新または変更する権利を留保します。

初採択日：2018 年 10 月 25 日

最初の変更日：2020 年 12 月 1 日

最終レビュー / 更新日：2023 年 3 月 22 日